
第六次鳥羽市総合計画に関する 市民アンケート調査結果 (本編)

令和 6 年 3 月
鳥羽市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要及び構成	1
第2章 回答者の属性	2
1. 性別	2
2. 年齢	3
3. 世帯構成	4
4. 主な職業	4
5. 交通手段	5
6. 居住地区	6
第3章 調査結果	7
1. 地域への愛着度	7
(1) 【全体】	7
(2) 【年齢別】	8
(3) 【職業別】	9
2. 住みやすさ	10
(1) 【全体】	10
(2) 【年齢別】	11
(3) 【職業別】	12
3. 定住意向とその要因	13
(1) 【全体】	13
(2) 【年齢別】	15
(3) 【職業別】	17
4. 広報利活用度	19
5. 市職員への印象	21
6. 施策別満足度・重要度	23
(1) 【施策目標に対する集計結果】	24
(2) 【満足度及び重要度の分類による市民ニーズの整理】	24
7. 力を入れてほしいまちづくり分野	26
8. 2040年に向けたまちづくりについて	27
参考資料 アンケート調査票	29

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の意向を把握し、第六次鳥羽市総合計画並びに前期基本計画の進捗を測る基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の概要及び構成

調査の概要及び構成は以下のとおりである。

調査の概要	
調査対象者	◆本市在住の市民
調査周知方法	◆広報とばにアンケートを掲載、SNSを活用した周知、街頭配布ほか
回答方法	◆調査票の郵送による回答、もしくはオンラインフォームへの回答
調査時期	◆令和5年12月1日（金）～令和6年1月15日（月）23：59まで ※当初回収締切12月25日（月）から回収期間を延長
回収結果	◆回収数：422 （内訳 オンライン：297 郵送：125）

調査の構成	
（1）地域への愛着度	◆現在の居住地域への愛着の有無
（2）住みやすさ	◆鳥羽市の住みやすさの評価
（3）定住意向とその要因	◆定住意向とその理由/転出意向とその理由
（4）広報利活用度	◆広報媒体別の利活用状況
（5）市職員への印象	◆市職員への満足度とそう感じた場面と対応
（6）施策別満足度・重要度	◆施策目標ごとの満足度/重要度
（7）力を入れてほしいまちづくり分野	◆今後特に力を入れてほしいまちづくり分野
（8）2040年に向けたまちづくりについて	◆地域共生社会づくり、サービスと公共交通について
（9）基本属性	◆性別/年齢層/世帯構成/職業/交通手段/居住地区

調査報告書の見方

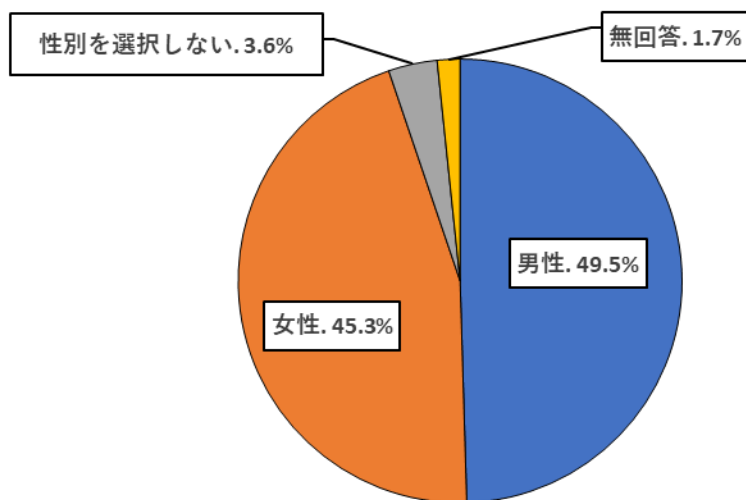
各回答の割合(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、各回答の割合(%)の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問においては、各回答の割合(%)の合計は100%にならない。

第2章 回答者の属性

1. 性別

問10 あなたの性別は次のうちどれにあたりますか。

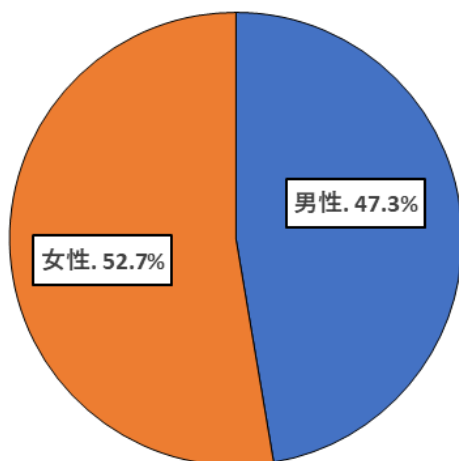
回答者の性別は、男性の回答割合が女性に比べ高くなっている。本市の男女別人口との比較では、男性の回答割合が多くなっている。



(単位：人)

	回答者数
男性	209
女性	191
性別を選択しない	15
無回答	7
合計	422

(参考) 鳥羽市の男女別人口 (R6.1月末現在)



※R6.1月末現在

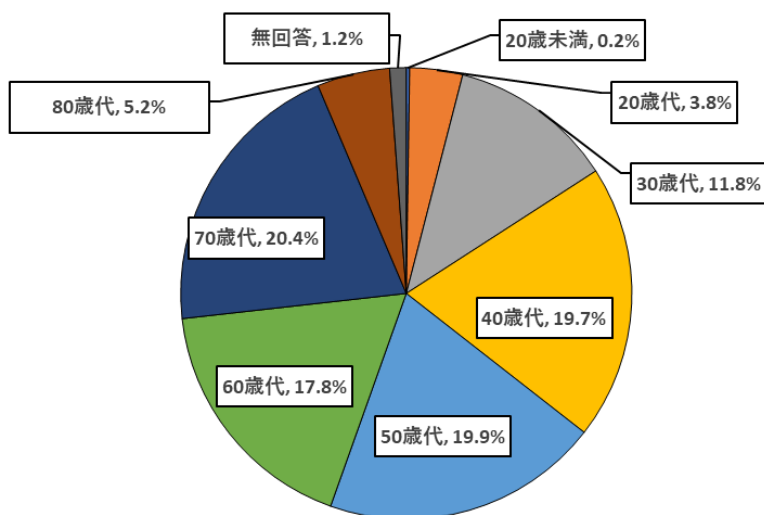
(単位：人)

	回答者数
男性	7,953
女性	8,849
合計	16,802

2. 年齢

問 11 あなたの年齢は次のうちどれにあたりますか。

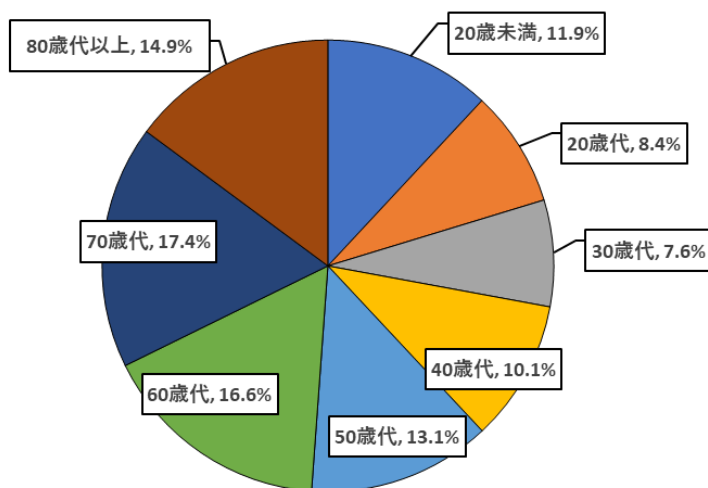
本市の年齢別人口との比較では、40 歳代～70 歳代の割合の回答が多くなっている。



(単位：人)

	回答者数
20歳未満	1
20歳代	16
30歳代	50
40歳代	83
50歳代	84
60歳代	75
70歳代	86
80歳代	22
無回答	5
合計	422

(参考) 鳥羽市の年齢別人口 (R6. 1 月末現在)



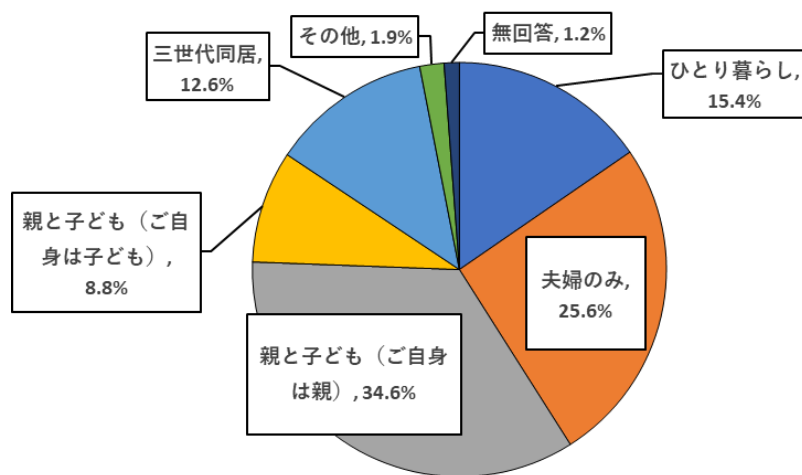
※R6. 1 月末現在 (単位：人)

	回答者数
20歳未満	2,005
20歳代	1,403
30歳代	1,281
40歳代	1,702
50歳代	2,205
60歳代	2,783
70歳代	2,927
80歳代以上	2,496
合計	16,802

3. 世帯構成

問 12 あなたの世帯構成は次のうちどれにあたりますか。

回答者の世帯構成は、親と子ども（ご自身は親）が最も高く、次いで、夫婦のみ、ひとり暮らしとなっている。同居家族のいる世帯が（81.6%）と大半を占めている。

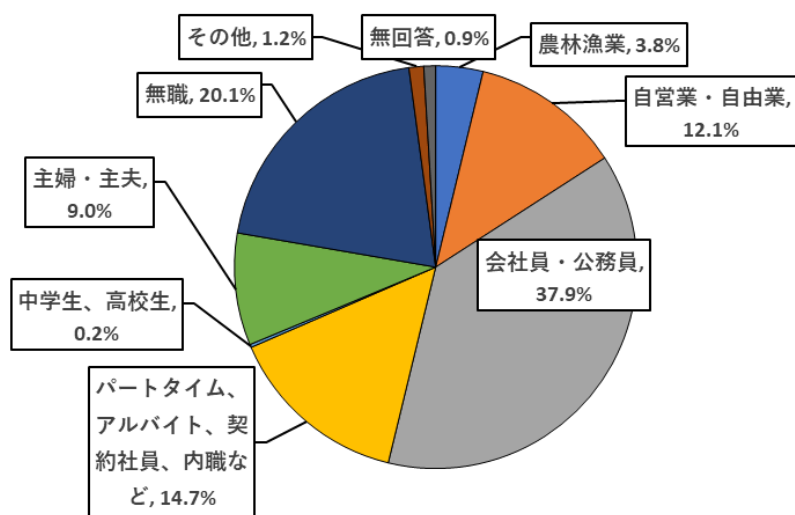


(単位：人)	
	回答者数
ひとり暮らし	65
夫婦のみ	108
親と子ども（ご自身は親）	146
親と子ども（ご自身は子ども）	37
三世帯同居	53
その他	8
無回答	5
合計	422

4. 主な職業

問 13 あなたの主なご職業は次のうちどれにあたりますか。（兼業の方は、主たる職業についてお答えください）

回答者の職業は、会社員・公務員が最も高く、次いで、無職、パートタイム、アルバイト、契約社員、内職などとなっている。



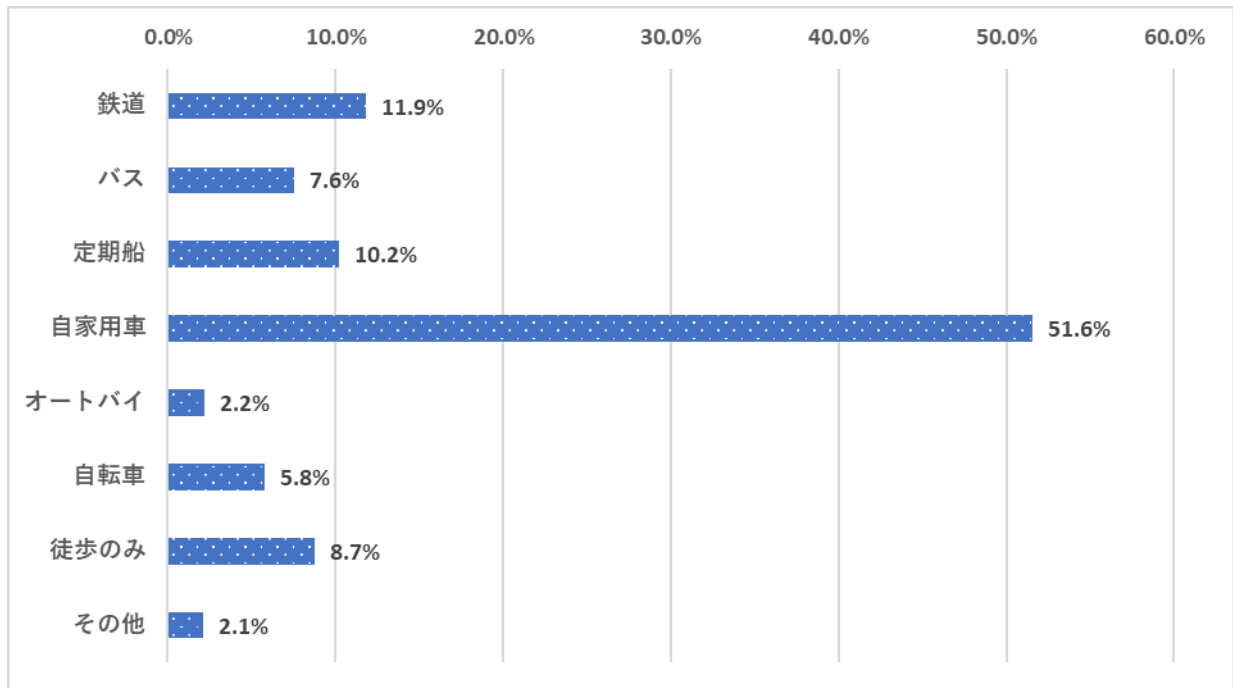
(単位：人)	
	回答者数
農林漁業	16
自営業・自由業	51
会社員、公務員など	160
パートタイム、アルバイト、契約社員、内職など	62
高校生	1
主婦・主夫	38
無職	85
その他	5
無回答	4
合計	422

5. 交通手段

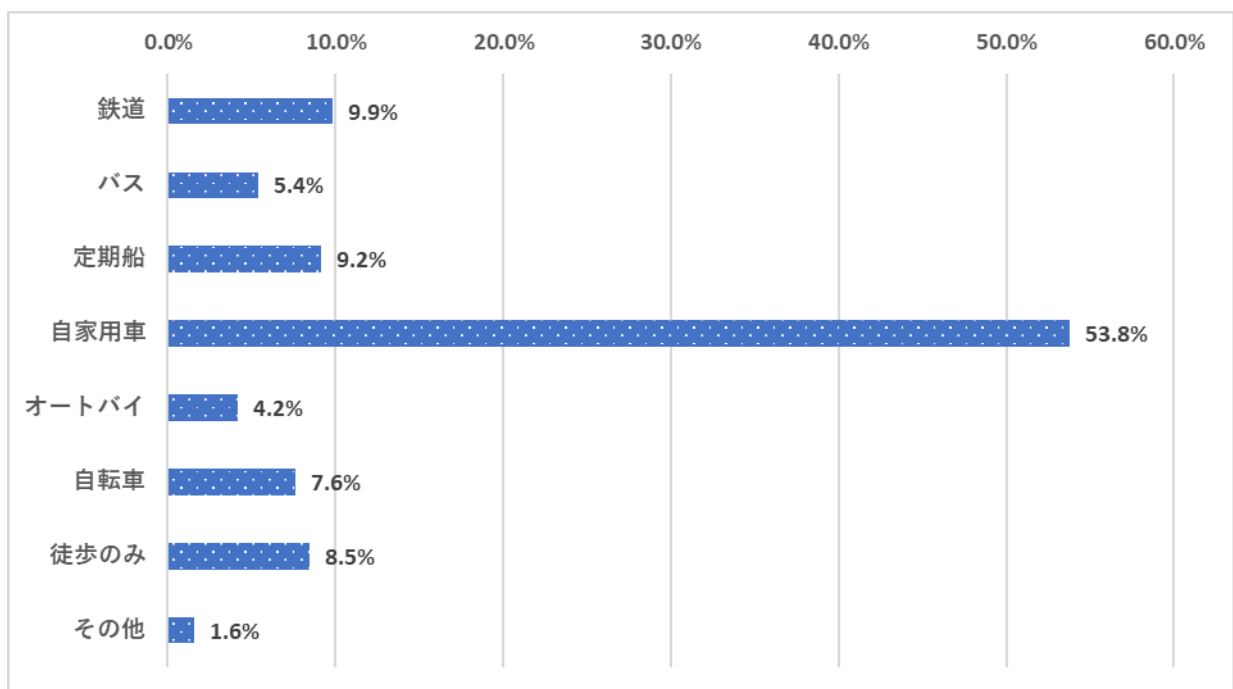
問 14 あなたが、通勤・通学、日常的なお出かけの際に利用している交通手段は次のどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答者の交通手段は、自家用車が最も高く、次いで、鉄道、定期船となっている。令和4年度調査結果との比較では、鉄道、バス、定期船、徒歩のみ、その他の割合が増加している。

※その他 タクシー、親族の車



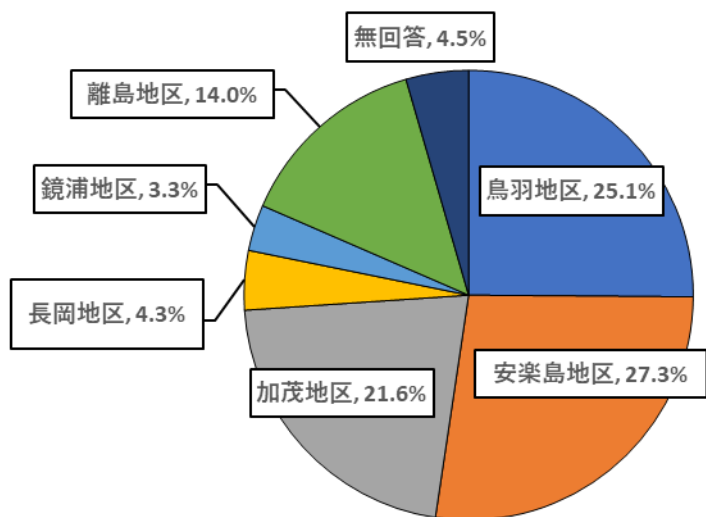
(参考) 令和4年度調査結果



6. 居住地区

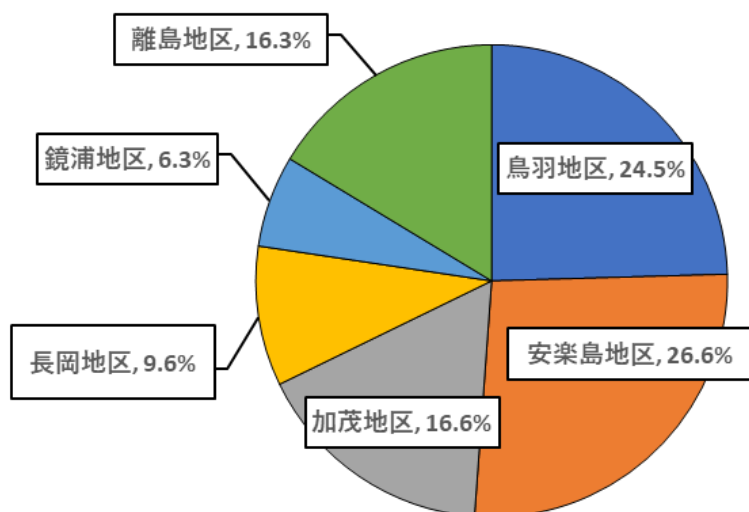
問 15 あなたのお住まいの地区をお答えください。

回答者の居住地区は、安楽島地区が最も高く、次いで、鳥羽地区、加茂地区となっている。本市の住居地区別人口と比較すると、長岡地区、鏡浦地区、離島地区の割合が少なくなっている。



(単位：人)	
	回答者数
鳥羽地区	106
安楽島地区	115
加茂地区	91
長岡地区	18
鏡浦地区	14
離島地区	59
無回答	19
合計	422

(参考) 鳥羽市の住居地区別人口 (R6.1月末現在)



※R6.1月末現在 (単位：人)	
	回答者数
鳥羽地区	4,124
安楽島地区	4,472
加茂地区	2,795
長岡地区	1,608
鏡浦地区	1,056
離島地区	2,747
合計	16,802

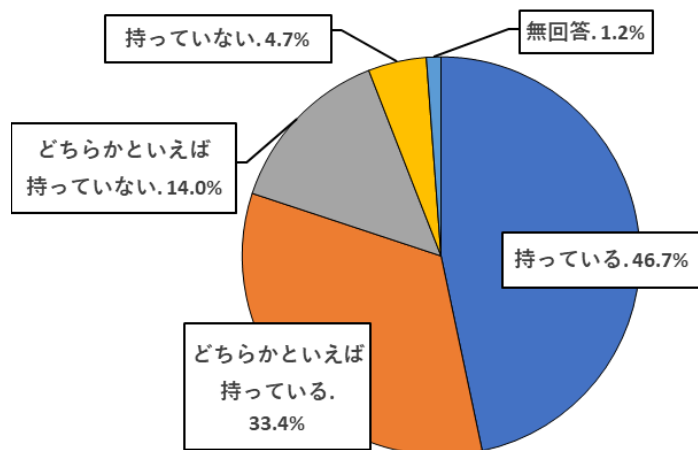
第3章 調査結果

1. 地域への愛着度

問1 あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。次の中から1つ選んでください。

(1) 【全体】

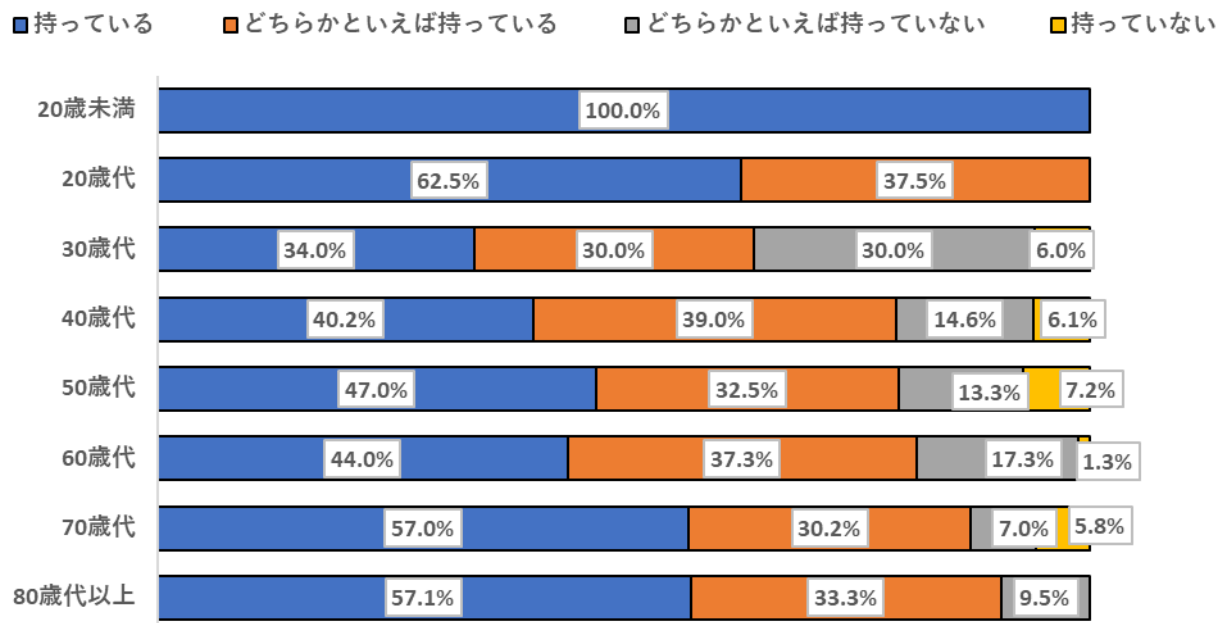
全体では、地域への愛着を持っているが最も高く、次いで、どちらかといえば持っているとなっており、居住地域への愛着を持っていると回答した割合が、80.1%を占めている。



(単位：人)	
	回答者数
持っている	197
どちらかといえば持っている	141
どちらかといえば持っていない	59
持っていない	20
無回答	5
合計	422

(2) 【年齢別】

年齢別では、地域への愛着を持っていると回答した割合は20歳未満、20歳代、70歳代～80歳代以上が高くなっている。なお、持っていない、どちらかといえば持っていないと回答した割合は、30歳代～50歳代が高くなっている。

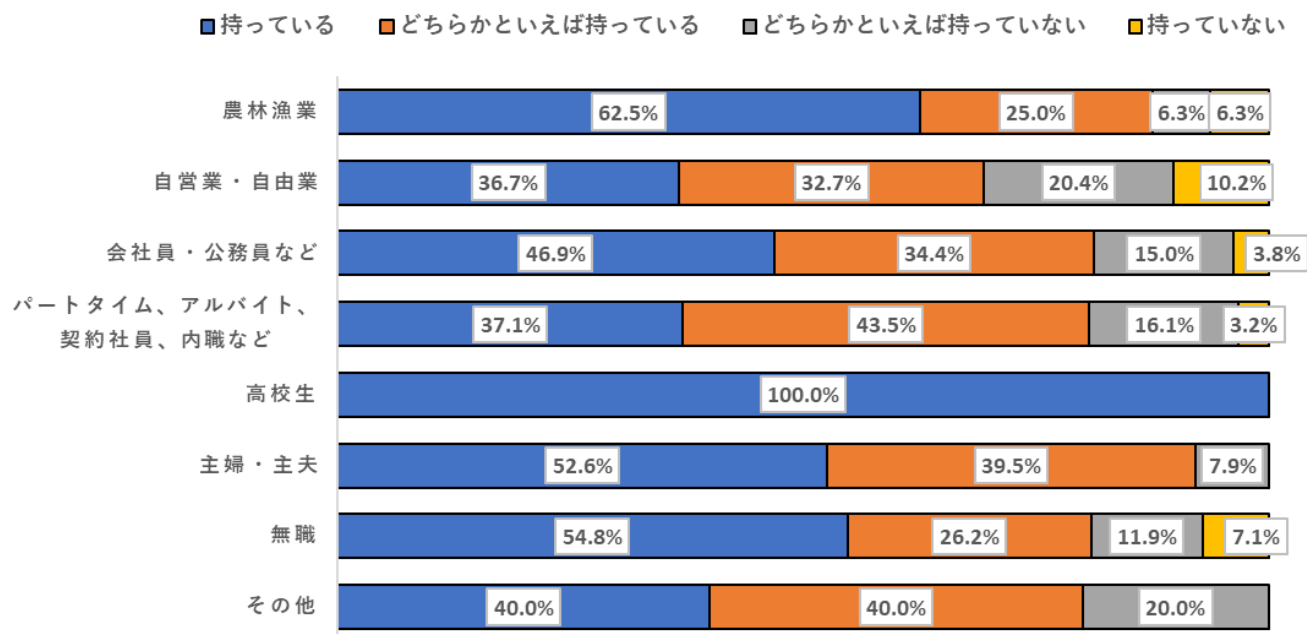


(単位：人)

	持っている	どちらかといえば 持っている	どちらかといえば 持っていない	持っていない	無回答	合計
20歳未満	1	0	0	0	0	1
20歳代	10	6	0	0	0	16
30歳代	17	15	15	3	0	50
40歳代	33	32	12	5	0	82
50歳代	39	27	11	6	0	83
60歳代	33	28	13	1	0	75
70歳代	49	26	6	5	0	86
80歳代以上	12	7	2	0	0	21
無回答	3	0	0	0	5	8
合計	197	141	59	20	5	422

(3) 【職業別

職業別では、地域への愛着を持っていると回答した割合が農林漁業、無職、高校生の割合が高くなっている。なお、持っていない、どちらかといえば持っていないと回答した割合は、自営業・自由業、その他が高くなっている。



(単位：人)

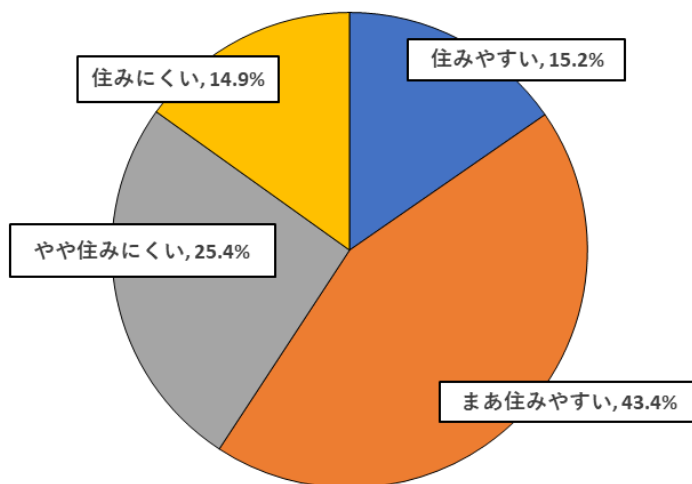
	持っている	どちらかといえば 持っている	どちらかといえば 持っていない	持っていない	無回答	合計
農林漁業	10	4	1	1	0	16
自営業・自由業	18	16	10	5	0	49
会社員・公務員など	75	55	24	6	0	160
パートタイム、アルバイト、 契約社員、内職など	23	27	10	2	0	62
高校生	1	0	0	0	0	1
主婦・主夫	20	15	3	0	0	38
無職	46	22	10	6	0	84
その他	2	2	1	0	0	5
無回答	2	0	0	0	5	7
合計	197	141	59	20	5	422

2. 住みやすさ

問2 あなたにとって、鳥羽市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

(1) 【全体】

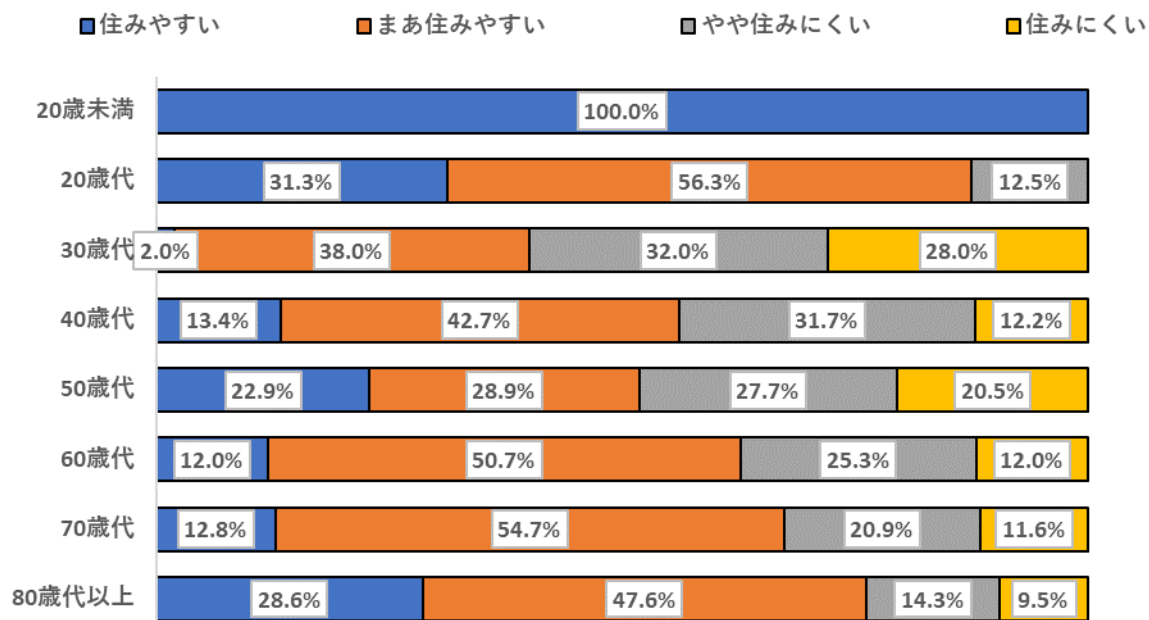
全体では、まあ住みやすいが最も高く、次いで、やや住みにくいとなっている。



(単位：人)	
	回答者数
住みやすい	64
まあ住みやすい	183
やや住みにくい	107
住みにくい	63
無回答	5
合計	422

(2) 【年齢別】

年齢別では、住みやすい、まあ住みやすいと回答した割合が20歳未満、20歳代、70歳代～80歳代以上が高くなっている。なお、住みにくい、やや住みにくいと回答した割合は、30歳代～50歳代が高くなっている。

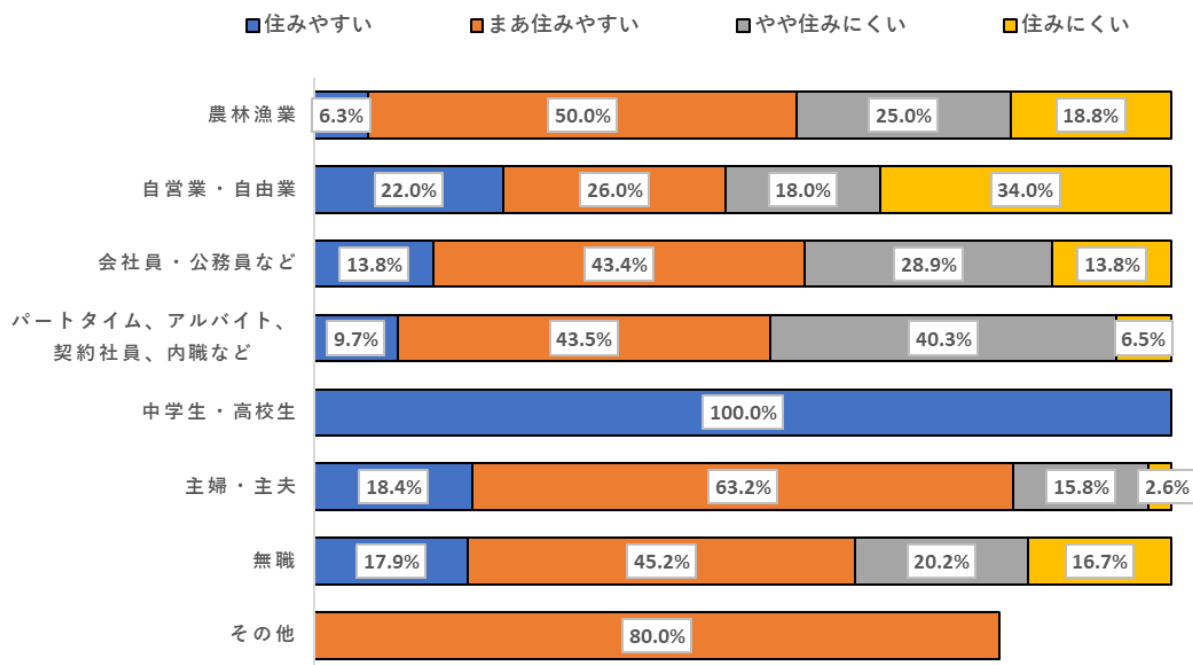


(単位：人)

	住みやすい	まあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	無回答	合計
20歳未満	1	0	0	0	0	1
20歳代	5	9	2	0	0	16
30歳代	1	19	16	14	0	50
40歳代	11	35	26	10	0	82
50歳代	19	24	23	17	0	83
60歳代	9	38	19	9	0	75
70歳代	11	47	18	10	0	86
80歳代以上	6	10	3	2	0	21
無回答	1	1	0	1	5	8
合計	64	183	107	63	5	422

(3) 【職業別】

職業別では、住みやすい、まあ住みやすいと回答した割合が主婦・主夫、無職、会社員・公務員、その他が高くなっている。なお、住みにくい、やや住みにくいと回答した割合は、自営業・自由業、パートタイム、アルバイト、契約社員、内職など、農林漁業、会社員・公務員となっている。



(単位：人)

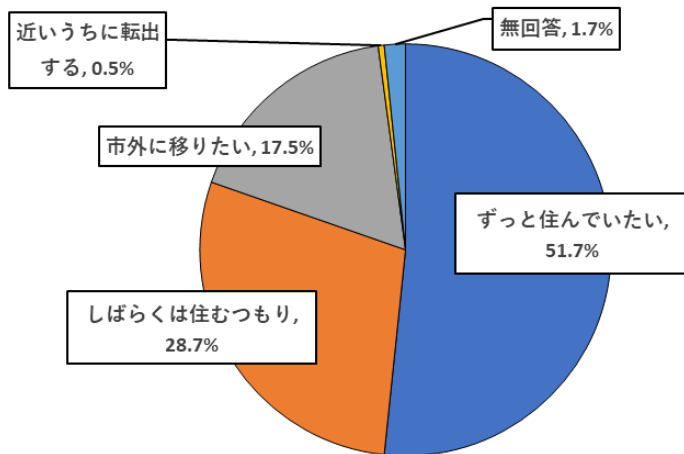
	住みやすい	まあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	無回答	合計
農林漁業	1	8	4	3	0	16
自営業・自由業	11	13	9	17	0	50
会社員・公務員など	22	69	46	22	0	159
パートタイム、アルバイト、契約社員、内職など	6	27	25	4	0	62
高校生	1	0	0	0	0	1
主婦・主夫	7	24	6	1	0	38
無職	15	38	17	14	0	84
その他	0	4	0	1	0	5
無回答	1	0	0	1	5	7
合計	64	183	107	63	5	422

3. 定住意向とその要因

問3 あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

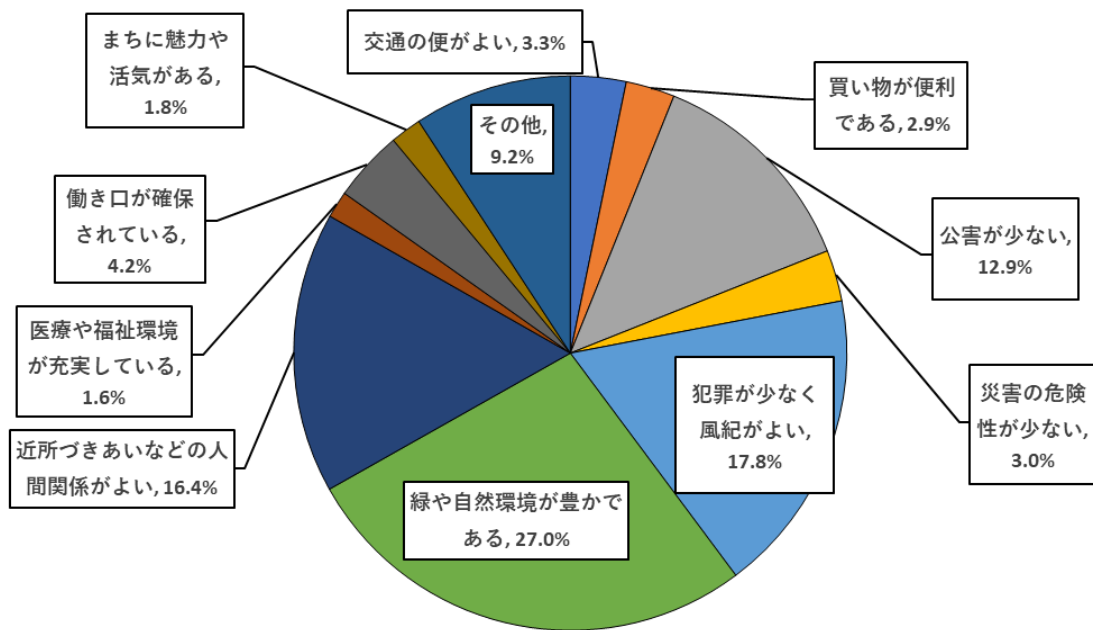
(1) 【全体】

全体では、ずっと住んでいたいが高くて、次いで、しばらく住むつもりとなっており、定住意向があると回答した割合が、80.4%を占めている。

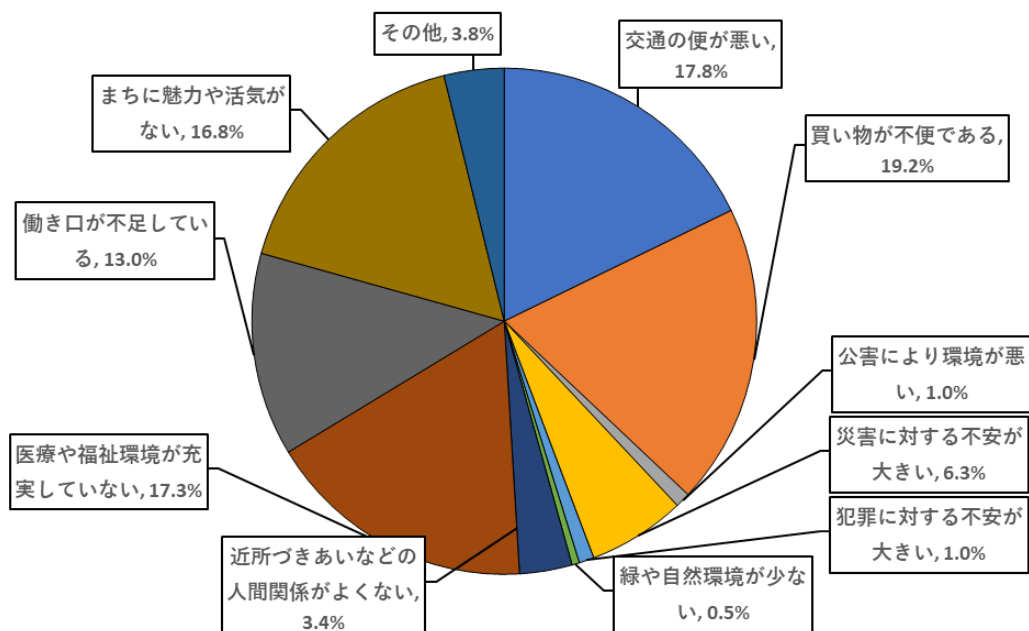


(単位：人)	
	回答者数
ずっと住んでいたい	218
しばらくは住むつもり	121
市外に移りたい	74
近いうちに転出する	2
無回答	7
合計	422

定住意向の理由については、緑や自然環境豊かであるが最も高く、次いで犯罪が少なく風紀がよい、近所づきあいなどの人間関係がよいとなっている。

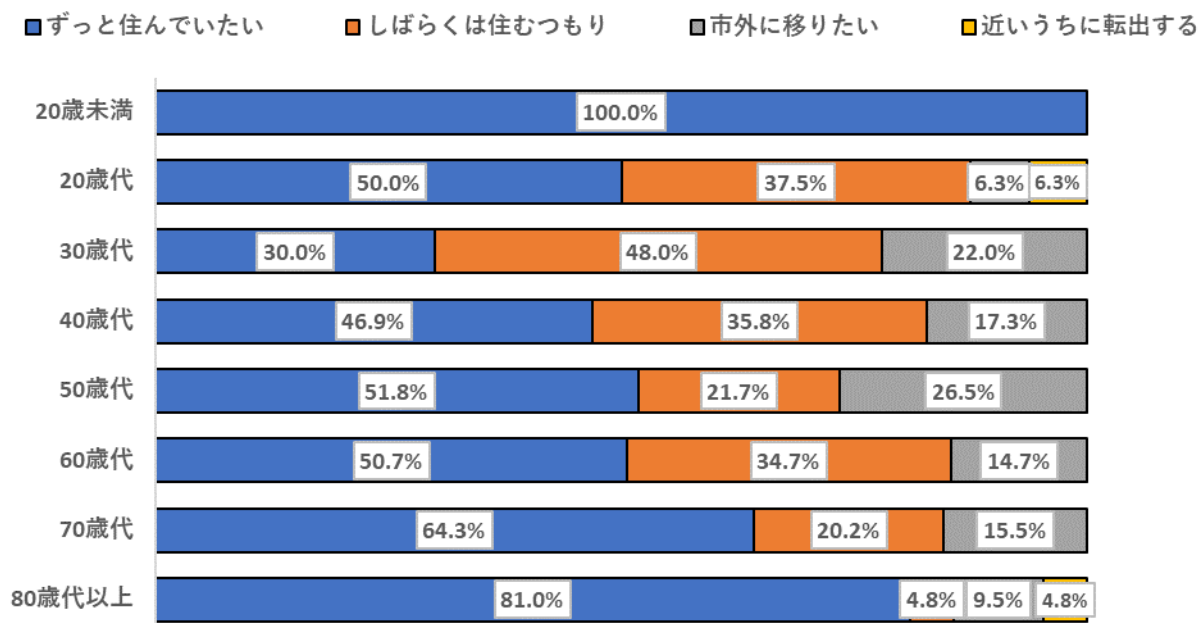


転出意向の理由については、買い物が不便である、交通の便が悪い、医療や福祉環境が充実していないが高くなっている。



(2) 【年齢別】

年齢別では、ずっと住んでいたいと回答した割合が20歳代、70歳代～80歳代が高くなっている。
 なお、近いうちに転出する、市外に移りたいと回答した割合は、30歳代～50歳代が高くなっている。



(単位：人)

	ずっと住んでいたい	しばらくは住むつもり	市外に移りたい	近いうちに転出する	無回答	合計
20歳未満	1	0	0	0	0	1
20歳代	8	6	1	1	0	16
30歳代	15	24	11	0	0	50
40歳代	38	29	14	0	0	81
50歳代	43	18	22	0	0	83
60歳代	38	26	11	0	0	75
70歳代	54	17	13	0	0	84
80歳代以上	17	1	2	1	0	21
無回答	4	0	0	0	7	11
合計	218	121	74	2	7	422

定住意向の理由については、全体的に緑や自然環境が豊かであるが高くなっている。

	交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	医療や福祉環境が充実している	働き口が確保されている	まちに魅力や活気がある	その他
10歳代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	0.0%	0.0%	14.7%	2.9%	20.6%	0.3%	14.7%	0.0%	5.9%	5.9%	2.9%
30歳代	1.6%	3.1%	3.1%	1.6%	12.5%	28.1%	18.8%	3.1%	7.8%	6.3%	14.1%
40歳代	2.8%	1.4%	13.3%	0.0%	22.4%	25.2%	14.0%	0.7%	8.4%	0.7%	11.2%
50歳代	2.3%	0.8%	8.5%	2.3%	12.4%	33.3%	17.1%	2.3%	7.0%	1.6%	12.4%
60歳代	3.9%	1.9%	15.5%	5.2%	18.1%	27.1%	12.9%	2.6%	1.9%	1.3%	9.7%
70歳代	4.8%	4.8%	15.1%	4.3%	18.8%	24.2%	21.0%	0.5%	0.5%	1.1%	4.8%
80歳代以上	0.0%	8.5%	19.1%	4.3%	19.1%	25.5%	14.9%	2.1%	0.0%	0.0%	6.4%

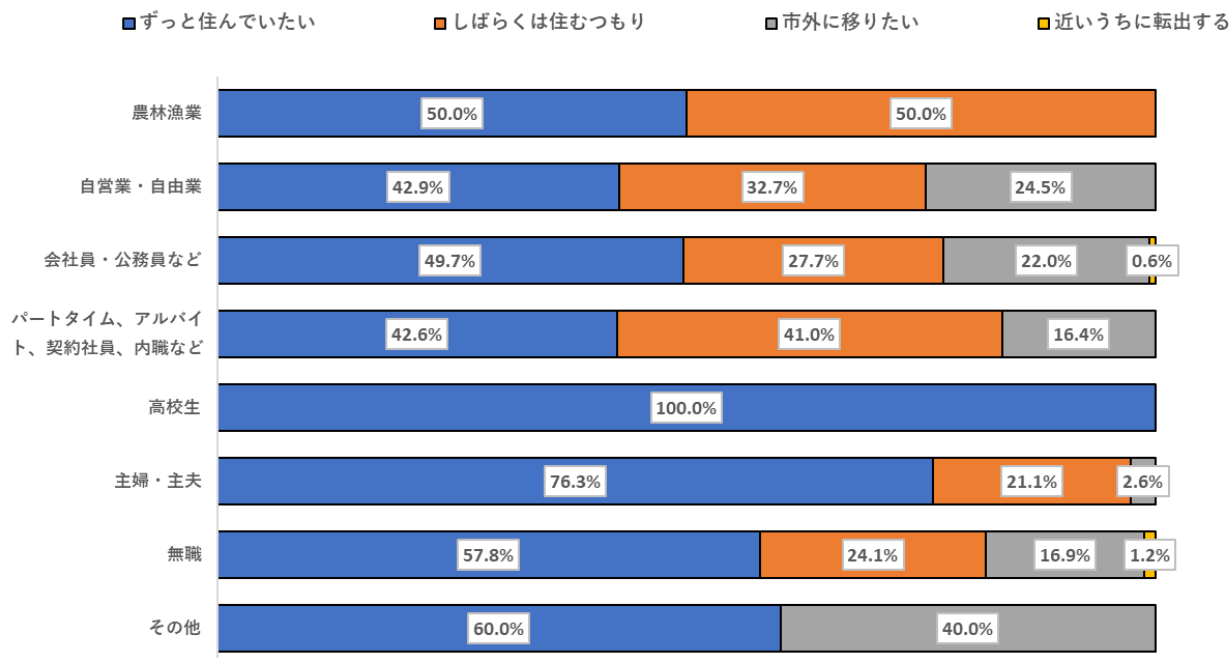
転出意向の理由については、全体的に買い物が不便であるが高くなっている。

また、30歳代以上で医療や福祉環境が充実していないも高くなっている。20歳代でその他が50%となっているが、その多くは、大都市に移住したい、仕事の都合となっている。

	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよい	医療や福祉環境が充実していない	働き口が不足している	まちに魅力や活気がない	その他
10歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
30歳代	14.3%	17.9%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	10.7%	17.9%	7.1%
40歳代	18.4%	23.7%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	15.8%	18.4%	0.0%
50歳代	19.4%	16.1%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	4.8%	21.0%	14.5%	16.1%	1.6%
60歳代	22.6%	22.6%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%	12.9%	9.7%	22.6%	3.2%
70歳代	18.9%	18.9%	5.4%	8.1%	2.7%	2.7%	5.4%	13.5%	8.1%	10.8%	5.4%
80歳代以上	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%

(3) 【職業別】

職業別では、ずっと住んでいたいと回答した割合が高校生、主婦・主夫、その他が高くなっている。なお、近いうちに転出する、市外に移りたいと回答した割合は、自営業・自由業、その他が高くなっている。



(単位：人)

	ずっと住んでいたい	しばらくは住むつもり	市外に移りたい	近いうちに転出する	無回答	合計
農林漁業	8	8	0	0	0	16
自営業・自由業	21	16	12	0	0	49
会社員・公務員など	79	44	35	1	0	159
パートタイム、アルバイト、契約社員、内職など	26	25	10	0	0	61
高校生	1	0	0	0	0	1
主婦・主夫	29	8	1	0	0	38
無職	48	20	14	1	0	83
その他	3	0	2	0	0	5
無回答	3	0	0	0	7	10
合計	218	121	74	2	7	422

定住意向の理由については、全体的に緑や自然環境が豊かであるが高くなっている。

	交通の便がよい	買い物 が便利である	公害が 少ない	災害の 危険性が 少ない	犯罪が 少なく 風紀がよい	緑や自然 環境が 豊かである	近所づきあいの 人間関係がよいなどの	医療や福祉環境が 充実している	働き口が確保 されている	まちに魅力や 活気がある	その他
農林漁業	0.0%	0.0%	8.3%	2.8%	16.7%	36.1%	19.4%	0.0%	2.8%	2.8%	11.1%
自営業・自由業	2.8%	2.8%	12.5%	2.8%	8.3%	29.2%	18.1%	0.0%	4.2%	2.8%	16.7%
会社員・公務員など	1.5%	1.5%	11.6%	1.2%	19.3%	28.2%	14.3%	1.9%	7.7%	2.7%	10.0%
パートタイム、アルバイト、 契約社員、内職など	4.2%	2.5%	10.9%	4.2%	20.2%	27.7%	18.5%	0.8%	5.0%	0.8%	5.0%
中学生・高校生	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫(主に家事に従事)	5.3%	4.3%	18.1%	3.2%	17.0%	26.6%	16.0%	1.1%	2.1%	0.0%	6.4%
無職	4.1%	4.7%	14.0%	5.2%	18.6%	23.8%	17.4%	2.9%	0.0%	1.2%	8.1%
その他	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%

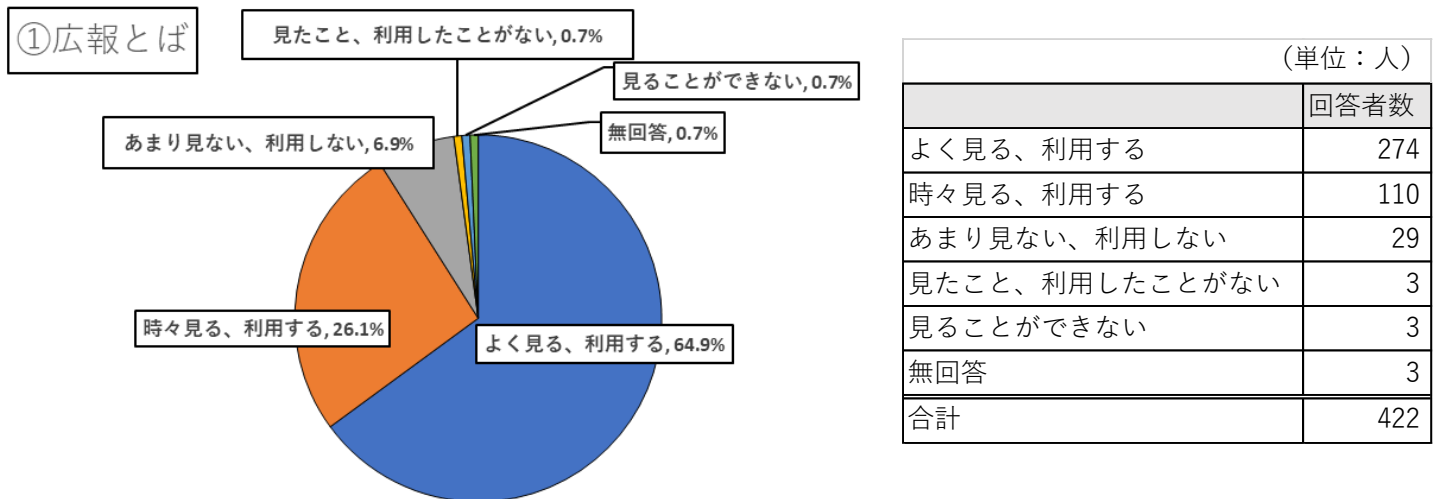
転出意向の理由については、働き口が不足している、まちに魅力や活気がない、買い物が不便である、交通の便が悪い、医療や福祉環境が充実していないが高くなっている。

	交通の便が悪い	買い物 が不便である	公害により 環境が悪い	災害に対する 不安が大きい	犯罪に対する 不安が大きい	緑や自然 環境が 少ない	近所づきあいの 人間関係がよくないなどの	医療や福祉環境が 充実していない	働き口が 不足している	まちに魅力や 活気がない	その他
農林漁業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業・自由業	22.2%	22.2%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	11.1%	11.1%	22.2%	5.6%
会社員・公務員など	15.2%	17.4%	0.0%	7.6%	1.1%	0.0%	1.1%	23.9%	14.1%	16.3%	3.3%
パートタイム、アルバイト、 契約社員、内職など	23.3%	23.3%	3.3%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%	10.0%	16.7%	10.0%	0.0%
中学生・高校生	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫(主に家事に従事)	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
無職	14.6%	19.5%	2.4%	4.9%	2.4%	2.4%	2.4%	17.1%	9.8%	19.5%	4.9%
その他	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%

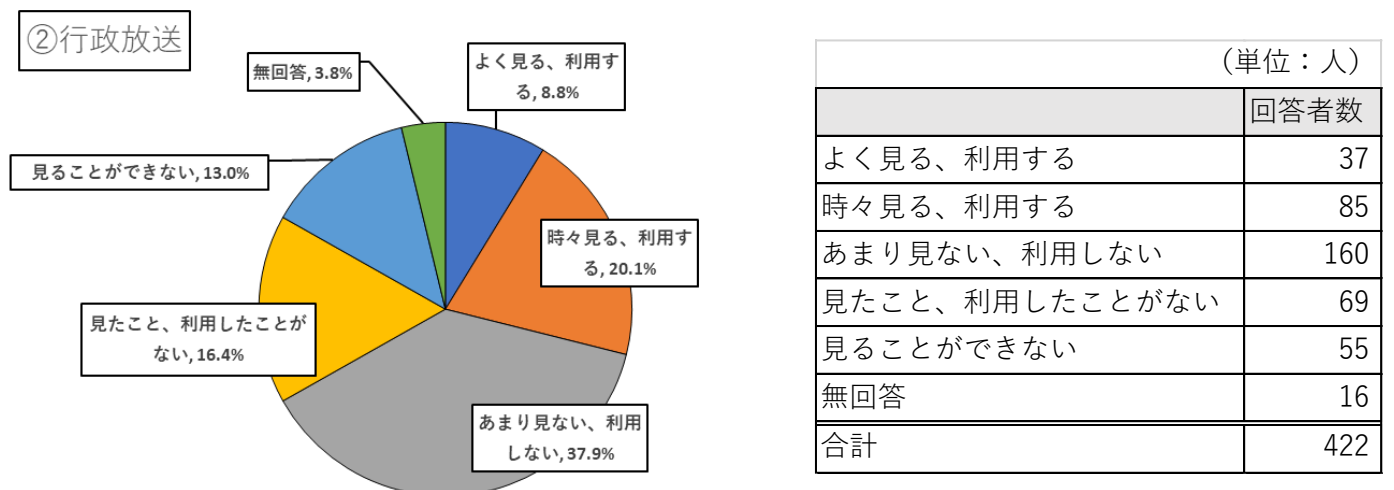
4. 広報利活用度

問4 あなたは鳥羽市の市政情報を入手する手段として、次の①～④それぞれについて、どの手段をどの程度利用されますか。1～5の中から1つ選んでください。

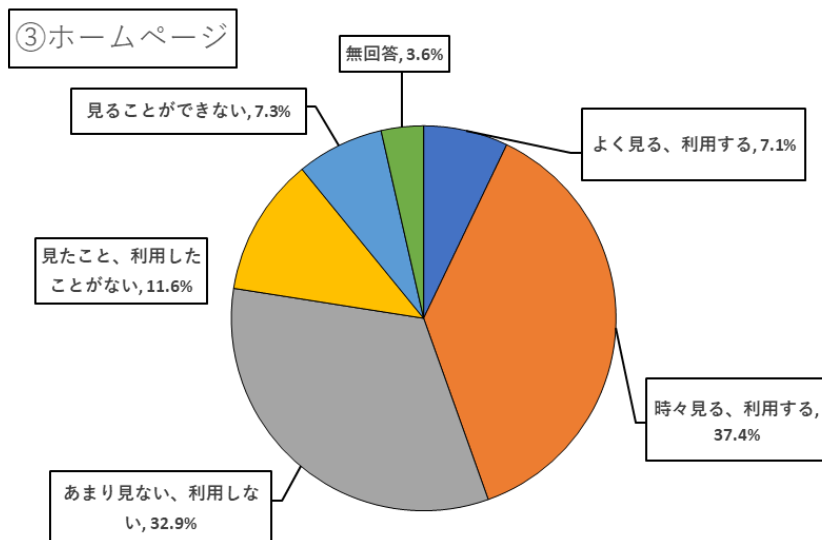
広報とばについて、よく見る、利用するが最も高くなっている、次いで、時々見る、利用するとなっている。



行政放送について、あまり見ない、利用しないが最も高くなっている。行政放送を利用していないもしくは見ることができないと回答した割合が、67.3%を占めている。

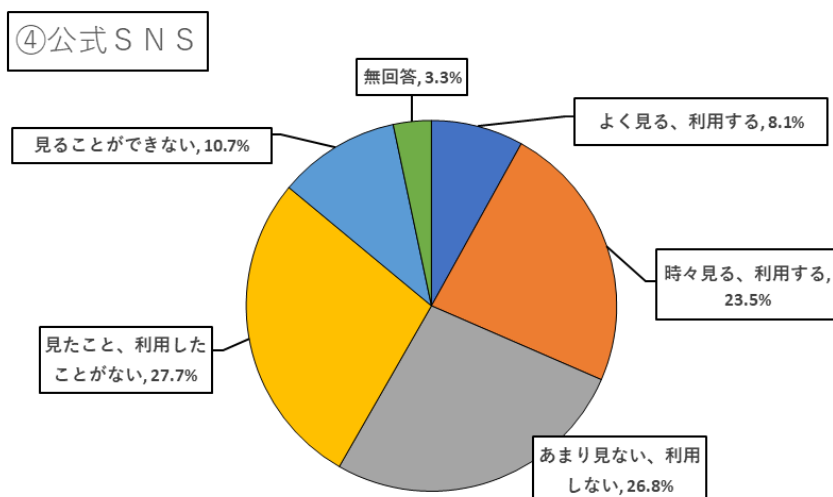


ホームページについて、時々見る、利用するが最も高くなっている。



(単位：人)	
	回答者数
よく見る、利用する	30
時々見る、利用する	158
あまり見ない、利用しない	139
見たこと、利用したことがない	49
見ることができない	31
無回答	15
合計	422

公式 SNS について、見たこと、利用したことがないが、最も高く、次いで、あまり見ない、利用したことがないとなっており、公式 SNS を利用していないもしくは見ることができないと回答した割合が、65.2%を占めている。

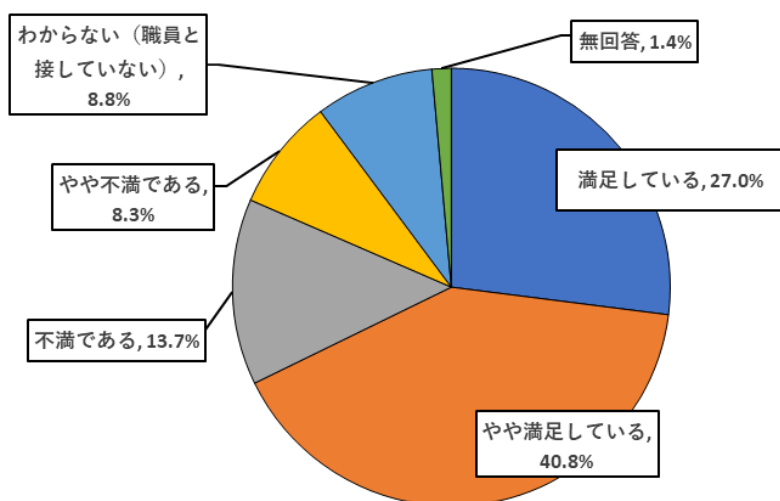


(単位：人)	
	回答者数
よく見る、利用する	34
時々見る、利用する	99
あまり見ない、利用しない	113
見たこと、利用したことがない	117
見ることができない	45
無回答	14
合計	422

5. 市職員への印象

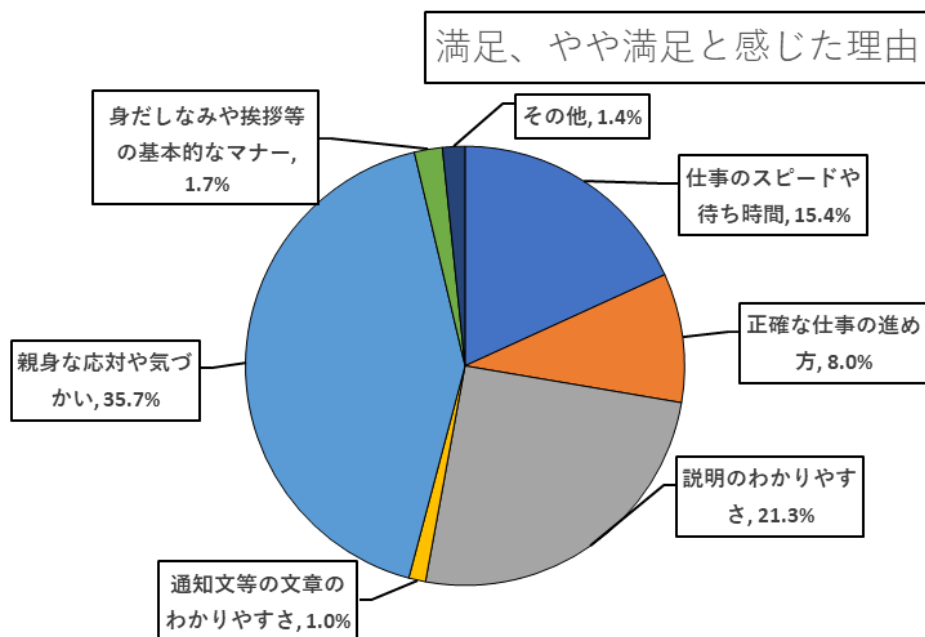
問5 あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。次の中から1つ選んでください。（来庁時、電話、市役所外の場面で職員と接した際の印象をお聞かせください）

全体では、やや満足しているが最も高く、次いで、満足しているとなっており、市職員に対して満足していると回答した割合が、67.8%を占めている。なお、不満、やや不満であると回答した割合は22.0%となっている。

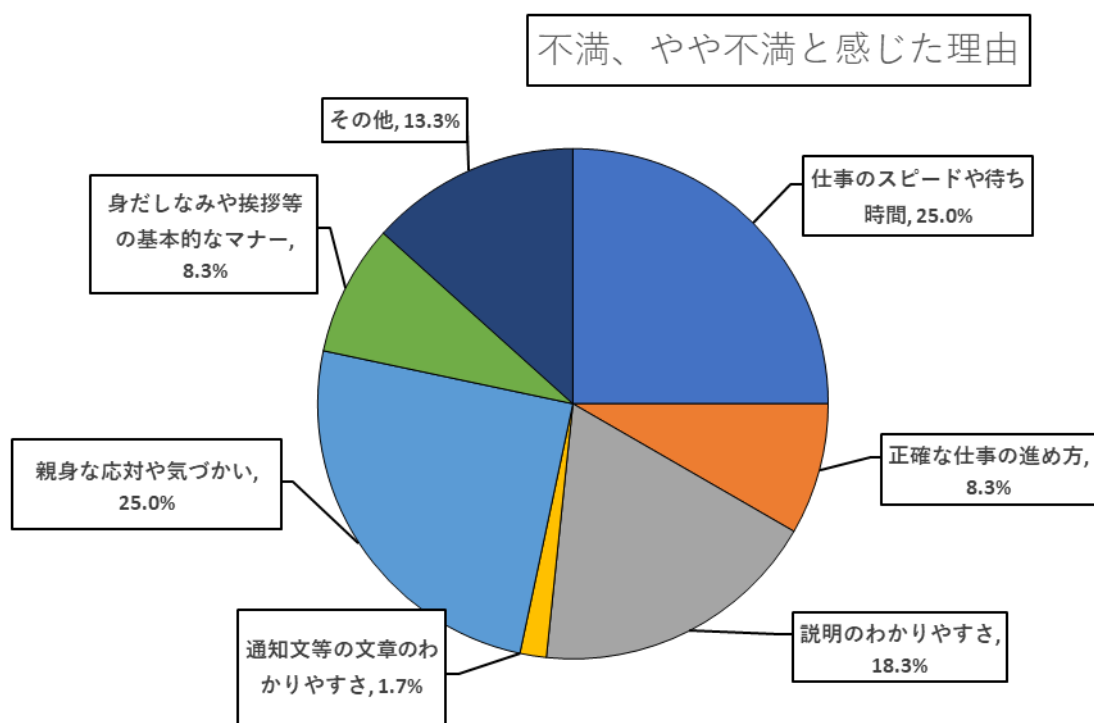


(単位：人)	
	回答者数
満足している	114
やや満足している	172
不満である	58
やや不満である	35
わからない（職員と接していない）	37
無回答	6
合計	422

満足、やや満足と感じた理由については、親切な対応や気づかい、説明のわかりやすさ、仕事のスピードや待ち時間が高くなっている。



不満、やや不満と感じた理由については、親切な対応や気づかい、仕事のスピードや待ち時間、説明のわかりやすさが高くなっている。



満足した具体的な場面をみると、窓口が最も高く、窓口での対応時に市職員への満足を感じたことがわかる。満足と感じた内容を見ると、窓口での親身な対応や気づかいが最も高く、次いで、説明のわかりやすさとなっている。

	電話	窓口	説明会や個別訪問、行事などの市役所外の場面	市と関連した仕事などを行う際	特に場面ではなく、市役所のイメージ	その他
満足している	11.5%	68.1%	1.8%	13.3%	5.3%	0.0%
やや満足している	6.4%	53.2%	11.7%	15.8%	11.1%	1.8%
やや不満である	19.0%	29.3%	5.2%	27.6%	8.6%	10.3%
不満である	11.4%	25.7%	14.3%	22.9%	11.4%	14.3%

6. 施策別満足度・重要度

問6 本市では、将来都市像の『誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽』を実現するために、以下に挙げるような「目標」と「めざすまちの姿」を設定して、施策を推進しています。満足度・重要度ともに5段階で評価し、それぞれ1～5の中から1つ選んでください。（取り組みの内容を知らない場合や、全く関心がない場合は、「6. わからない」を選んでください。）

満足度：「満足している」＝5点、「やや満足している」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「やや不満である」＝2点、「不満である」＝1点とし、「わからない」「無回答」を除いた平均得点

重要度：「重要である」＝5点、「やや重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点とし、「わからない」「無回答」を除いた平均得点

（参考） 第六次総合計画前期基本計画における施策の体系一覧

将来像	政策の柱	施策目標（★は重点施策を表します）
誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽	1. 出産・子育てを支え、 学びと交流が活発に行われるまち （子育て、教育・人材育成、交流の促進）	【子育て】 ★①子どもと子育て家庭をやさしく支える
		【教育人材育成】 ②子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める ★③しっかり学ぶ子どもたちを育てる ④多様な立場や個性を認め合う精神を育てる ⑤生涯学習やスポーツを進める
		【交流の促進】 ★⑥鳥羽ファンの憩いとつながりづくり
	2. 人が集い活力あふれるまち （観光の魅力向上、産業振興と経営の安定化、 就業・起業）	【観光の魅力向上】 ★⑦海洋文化を守り、活かす ⑧まちの美しさと機能を保つ ★⑨地域資源を活かした経済循環
		【産業振興と経営の安定化】 ★⑩水産業を守り育てつなぐ ⑪農業に触れる機会をつくる ⑫商工業の明日を支える
		【就業・起業】 ★⑬とばびとの「働く」を支える
		【環境保全】 ⑭環境負荷の少ない循環型社会の創出
	3. 人と自然が調和した 環境にやさしいまち （環境保全・自然共生・生活環境）	【自然共生】 ⑮緑と海を次代に残す
		【生活環境】 ★⑯住環境・土地利用の健全化 ⑰安全で快適な道路環境整備に努める ⑱安心な水を未来につなぐ
		【福祉】 ⑲みんなで支え合うまちをつくる ⑳高齢者が地域でいつまでも暮らせるまちをつくる ㉑障がい者の地域での主体的な生活を支える
		【安全安心な暮らし】 ★㉒災害や犯罪に強いまちをつくる ㉓消防・救急体制を充実する ㉔地域に合った移動手段を考える
	4. 誰もが生きがいを持ち、 安心して暮らせるまち （福祉、安全安心な暮らし、保健医療・各種手 続き）	【保健医療・各種手続き】 ★㉕健康で安心できる暮らしを支える ㉖質の高い市民サービスを提供する

（１）【施策目標に対する集計結果】

（ア） ＜重要度＞

施策目標に対する市民の重要度については、上位には、「消防・救急体制を充実する」、「健康で安心できる暮らしを支える」、「しっかり学ぶ子どもたちを育てる」、「災害や犯罪に強いまちをつくる」などが挙がっており、下位には「鳥羽ファンの憩いとつながりづくり」、「多様な立場や個性を認め合う精神を育てる」、「農業に触れる機会をつくる」などが挙げられている。

（イ） ＜満足度＞

施策目標に対する市民の満足度については、上位には、「消防・救急体制を充実する」、「安心な水を未来につなぐ」などが挙がっており、下位には「とばびとの「働く」を支える」、「住環境・土地利用の健全化」、「農業に触れる機会をつくる」などが挙げられている。

施 策 目 標	重 要 度	満 足 度
①子どもと子育て家庭をやさしく支える	3.96	2.85
②子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める	3.89	2.92
③しっかり学ぶ子どもたちを育てる	3.99	2.88
④多様な立場や個性を認め合う精神を育てる	3.49	2.71
⑤生涯学習やスポーツを進める	3.69	2.88
⑥鳥羽ファンの憩いとつながりづくり	3.45	2.57
⑦海洋文化を守り、活かす	3.62	2.70
⑧まちの美しさと機能を保つ	3.70	2.47
⑨地域資源を活かした経済循環	3.74	2.79
⑩水産業を守り育てつなぐ	3.83	2.68
⑪農業に触れる機会をつくる	3.51	2.38
⑫商工業の明日を支える	3.62	2.42
⑬とばびとの「働く」を支える	3.81	2.25
⑭環境負荷の少ない循環型社会の創出	3.82	2.93
⑮緑と海を次代に残す	3.86	2.61
⑯住環境・土地利用の健全化	3.77	2.31
⑰安全で快適な道路環境整備に努める	3.71	2.52
⑱安心な水を未来につなぐ	3.94	3.28
⑲みんなで支え合うまちをつくる	3.69	2.69
⑳高齢者の地域でいつまでも暮らせるまちをつくる	3.77	2.76
㉑障がい者の地域での主体的な生活を支える	3.72	2.78
㉒災害や犯罪に強いまちをつくる	3.96	2.92
㉓消防・救急体制を充実する	4.07	3.31
㉔地域に合った移動手段を考える	3.92	2.47
㉕健康で安心できる暮らしを支える	3.99	2.67
㉖信頼できる窓口業務(質の高い市民サービスを提供する)	3.85	2.98
㉗-1安心できる社会保障制度の運営(質の高い市民サービスを提供する)	3.85	2.81
全体平均	3.79	2.72

・ピンク着色・上位5施策 ・水色着色・下位5施策

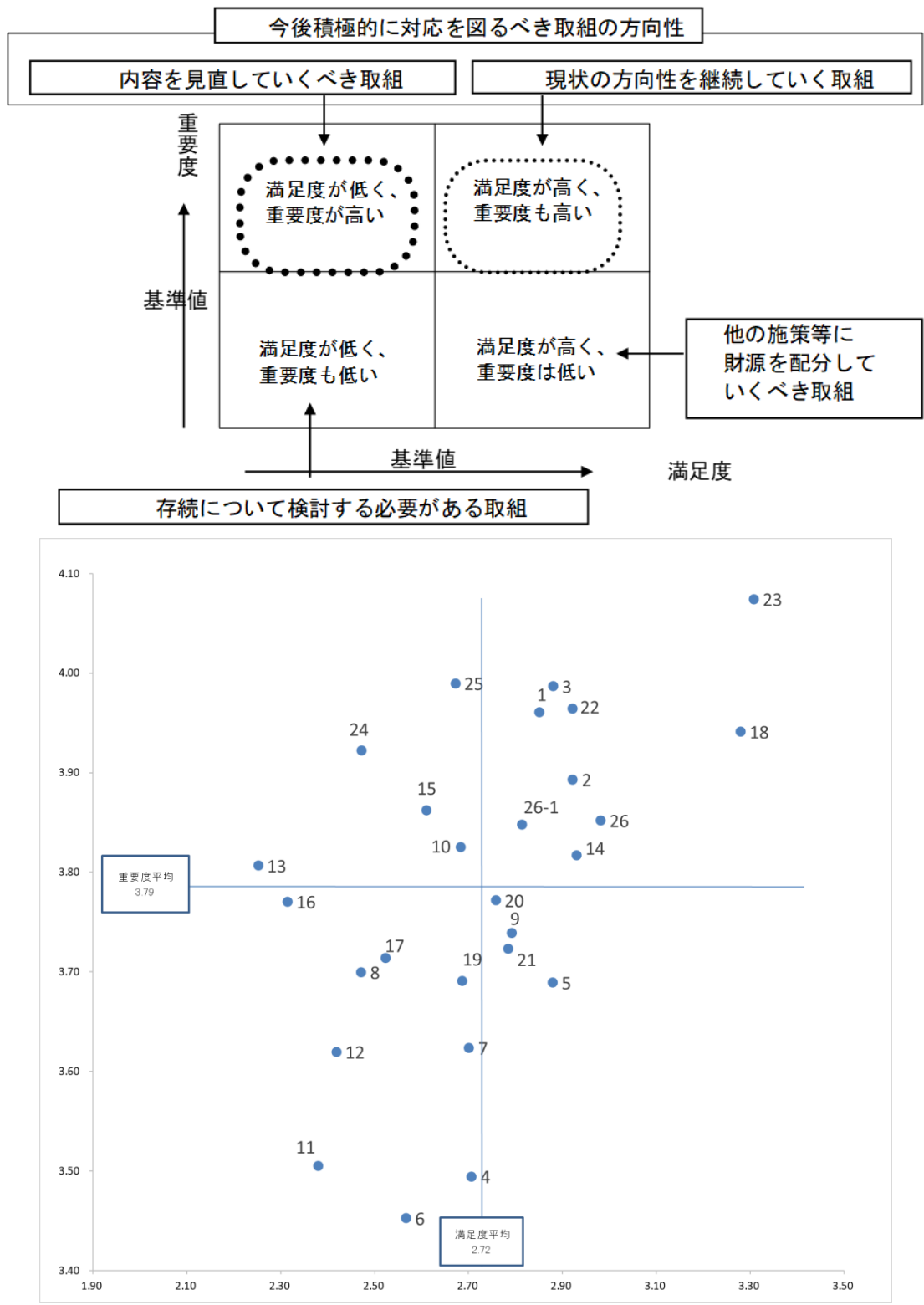
（２）【満足度及び重要度の分類による市民ニーズの整理】

満足度を横軸、重要度を縦軸にして、各取組のポジショニングを行った散布図を作成し、各取組相互の位置関係を示すことにより特性の把握を行った。

「わからない」「無回答」を除く回答者に対する満足度の平均値（2.72）、重要度の平均値（3.79）を踏まえ、満足度と重要度の関係を下図のように整理し分析した。

【今後積極的に対応を図るべき取組】

今後積極的に対応を図るべき取組は、満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取組」と、満足度が高く、重要度も高い「現状の方向性を継続していく取組」の2つの象限に該当する取組と考えられる。

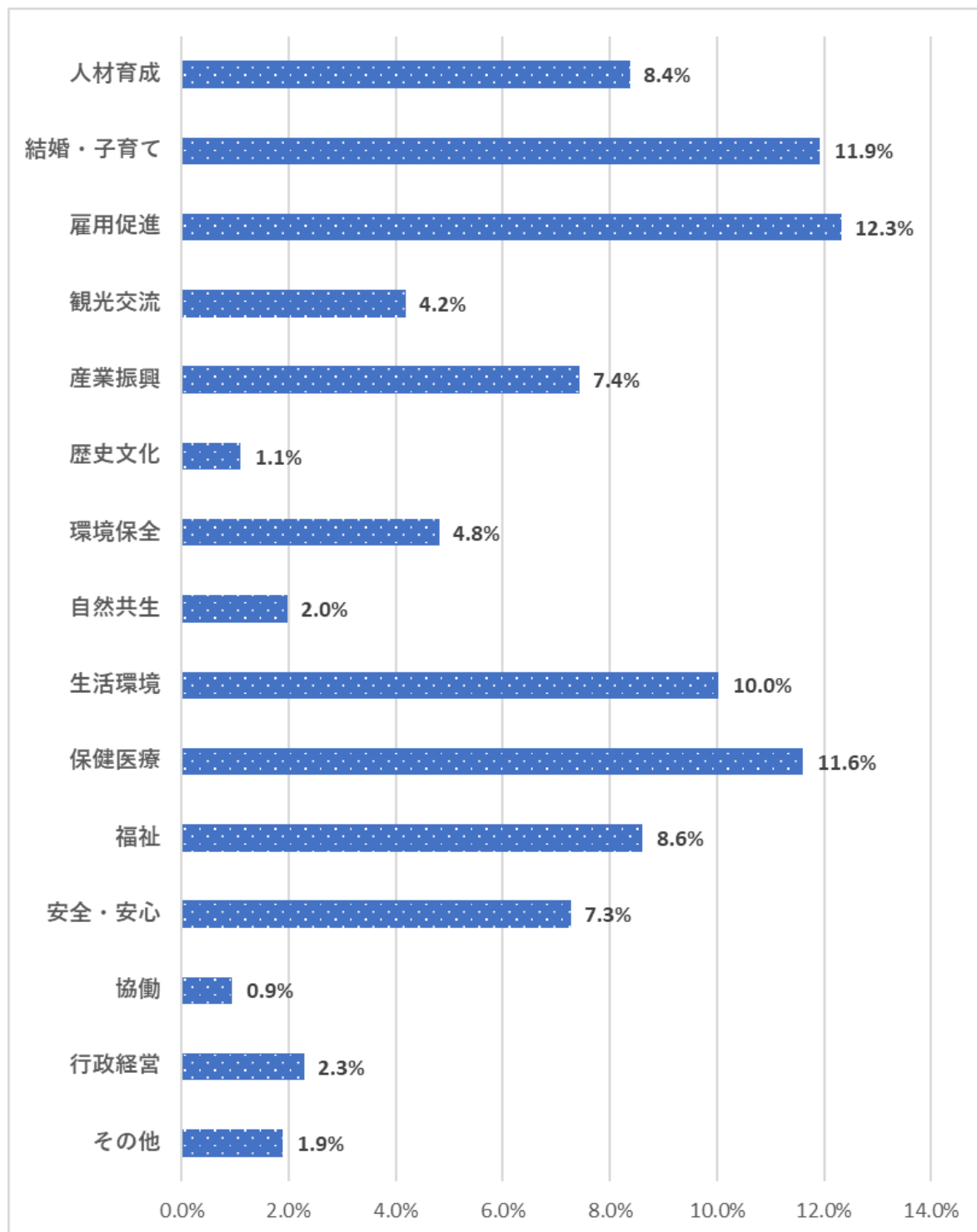


満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取組」
 内容を見直していくべき取組としては、「⑩水産業を守り育てつなぐ」、「⑬とばびとの「働く」を支える」、「⑮緑と海を次代に残す」、「⑲地域に合った移動手段を考える」、「⑲健康で安心できる暮らしを支える」などが挙げられている。

7. 力を入れてほしいまちづくり分野

問7 「今後特に力を入れてほしいまちづくり分野」についてお聞きします。次の分野別政策目標のうち、今後のまちづくりの中で特に力を入れるべき分野を次の中から主なものを3つまで選んでください。

雇用促進が最も高く、次いで、結婚・子育て、保健医療となっている。



8. 2040年に向けたまちづくりについて

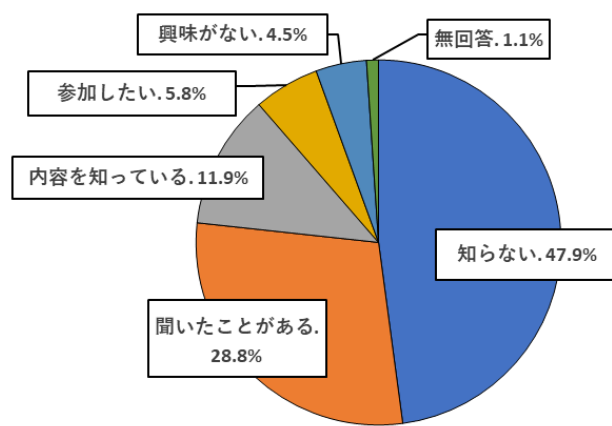
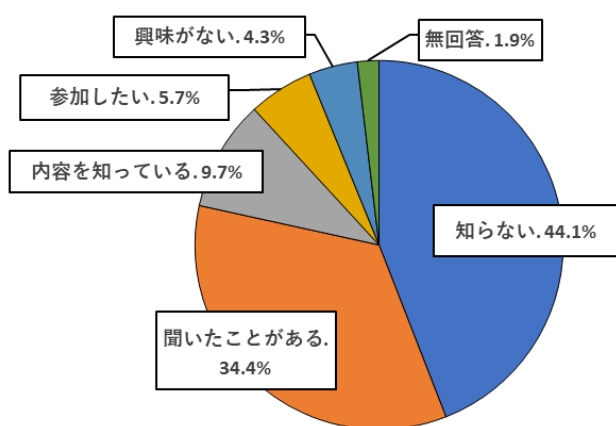
今後、人口減少が進むと推測されています。(2040年には約1万人まで減少する見通し)
これから「稼ぐ」「つながる」「社会資源の最適化」という点からまちづくりを改めて考えていく必要があります。

問8 鳥羽市が進める2040年に向けての「地域共生社会」づくりについてどの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

知らないが最も高く、次いで、聞いたことがあるとなっている。

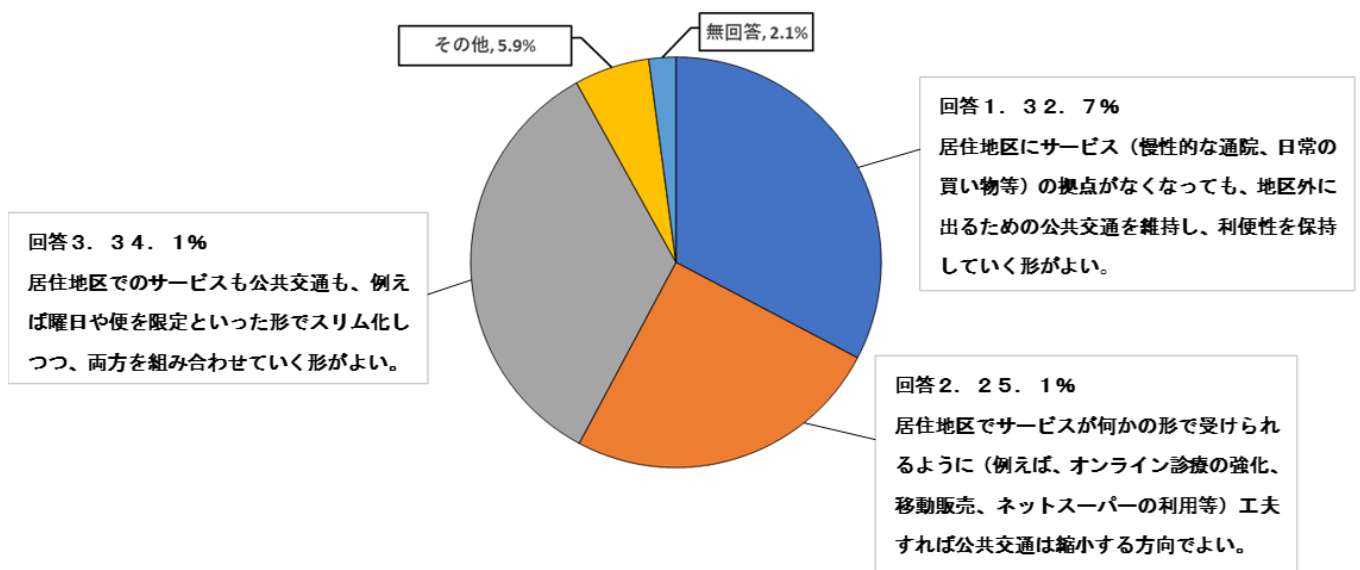
令和4年度調査結果との比較では、知らないが3.8%減少し、聞いたことがあるが、5.6%増加している。

(参考) 令和4年度調査結果

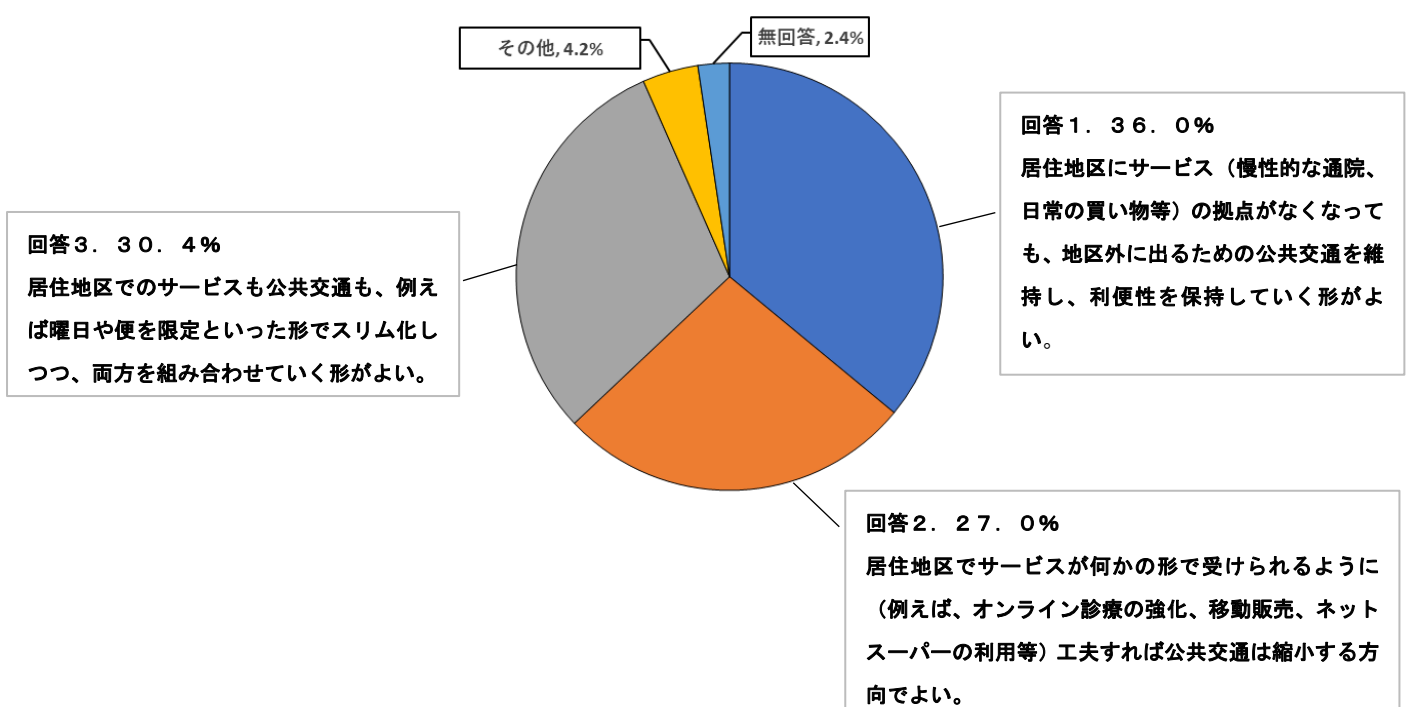


問9 本市では人口3万人時代に整備した施設等が老朽化してきています。現役世代が大きく減少し、市税も減っていく中で、公共サービスすべてを維持していくことは難しい面があります。2040年に向けて、お住まいの地区でのサービスと公共交通について、これからどの方向で進めていくのがよいとお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。

「3. 居住地区でのサービスも公共交通も、例えば曜日や便を限定といった形でスリム化しつつ、両方を組み合わせていく形がよい」が34.1%、次いで「1. 居住地区にサービス（慢性的な通院、日常の買い物等）の拠点がなくなっても、地区外に出るための公共交通を維持し、利便性を保持していく形がよい」が32.7%、次いで、「2. 居住地区でサービスが何かの形で受けられるように（例えば、オンライン診療の強化、移動販売、ネットスーパーの利用等）工夫すれば公共交通は縮小する方向でよい。」が25.1%となっている。令和4年度調査結果との比較では、回答3が3.6%増加している。回答1、2については、減少している。



(参考) 令和4年度調査結果



参考資料 アンケート調査票

みなさんの声を
聴かせてください!!

市民アンケートを実施します

企画財政課企画経営室 ☎ (25) 1101



鳥羽市のまちづくりについての基礎資料とするため、住民のみなさんが日ごろ感じているご意見やご要望をお聞かせいただく機会として、市民アンケートを実施します。この機会をぜひ活用してください。

募集期限 12月26日(火) 必着 (郵送の場合は消印有効)

募集方法 オンラインフォームまたは郵送

○オンラインフォームより回答

スマートフォンの場合

QRコードを読み取っていただき、表示されるページ上で回答

パソコンの場合

以下のURLに直接アクセスしていただき、表示されるページ上で回答

URL <https://logoform.jp/f/5fAbj>

○郵送により回答

この用紙をご利用いただき、裏面回答欄に記入のうえポストに投函

オンラインフォームでの回答が便利ですので、ぜひ利用してください。

問 1		問 2		問 3									
問 3 (AB 共通)													
[問 3AB] その他自由記述→													
問 4	①	②	③	④									
問 5		問 5A											
[問 5A] その他自由記述→													
問 5B													
[問 5B] その他自由記述→													
問 6	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	
1			2		3			4			5		
6			7		8			9			10		
11			12		13			14			15		
16			17		18			19			20		
21			22		23			24			25		
26			26-1										
問 7			問 8		問 9		問 10		問 11		問 12		問 13
問 14							問 15						
[問 7] その他自由記述→													
[問 9] その他自由記述→													
[問 12] その他自由記述→													
[問 13] その他自由記述→													
[問 14] その他自由記述→													
自由なご意見をこちらへどうぞ													

市民アンケート内容

郵送による回答をされる場合は、**回答欄**に記入してください。

鳥羽市への愛着・住みやすさ・定住意向について

問1 あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 持っている | 2. どちらかといえば持っている |
| 3. どちらかといえば持っていない | 4. 持っていない |

問2 あなたにとって、鳥羽市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 住みやすい | 2. まあ住みやすい |
| 3. やや住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 3. 市外に移りたい |
| 2. しばらくは住むつもり | 4. 近いうちに転出する |

問3で「1」「2」を選んだかたは
問3 Aにお進みください。

問3 A

それはどういった理由からですか。
次の中から主なものを3つまで選んで
ください。

1. 交通の便がよい
2. 買い物に便利である
3. 公害が少ない
4. 災害の危険性が少ない
5. 犯罪が少なく風紀がよい
6. 緑や自然環境が豊かである
7. 近所づきあいなどの人間関係がよい
8. 医療や福祉環境が充実している
9. 働き口が確保されている
10. まちに魅力や活気がある
11. その他

問3で「3」「4」を選んだかたは
問3 Bにお進みください。

問3 B

それはどういった理由からですか。
次の中から主なものを3つまで選んで
ください。

1. 交通の便が悪い
2. 買い物に不便である
3. 公害により環境が悪い
4. 災害に対する不安が大きい
5. 犯罪に対する不安が大きい
6. 緑や自然環境が少ない
7. 近所づきあいなどの人間関係がよくない
8. 医療や福祉環境が充実していない
9. 働き口が不足している
10. まちに魅力や活気がない
11. その他

市政情報の入手について

問4 あなたは鳥羽市の市政情報を入手する手段として、次の①～④それぞれについて、どの手段をどの程度利用されますか。1～5の中から1つ選んでください。

項目	評価	よく見る、 利用する	時々見る、 利用する	あまり見ない、 利用しない	見たこと、利用 したことがない	見ることができない
① 広報とば		1	2	3	4	5
② 行政放送		1	2	3	4	5
③ ホームページ		1	2	3	4	5
④ 公式 SNS		1	2	3	4	5

※公式 SNS・・・Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram、YouTube

市職員の印象について

問5 あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。次の中から1つ選んでください。(来庁時、電話、市役所外の場面で職員と接した際の印象をお聞かせください)

- | | | | |
|---------------------|-------------|------------|----------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. やや不満である | 4. 不満である |
| 5. わからない(職員と接していない) | | | |

問5で「1」「2」「3」「4」を選んだかたは問5 Aにお進みください

問5 A それはどのような場面で最もそう感じましたか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 電話 | 2. 窓口 |
| 3. 説明会や個別訪問、行事など市役所外の場面 | 4. 市と関連した仕事などを行う際 |
| 5. 特に場面ではなく、市役所のイメージ | 6. その他 |

問5 Aで「1」「2」「3」「4」を選んだかたは問5 Bにお進みください

問5 B それはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 仕事のスピードや待ち時間 | 2. 正確な仕事の進め方 |
| 3. 説明のわかりやすさ | 4. 通知文等の文章のわかりやすさ |
| 5. 親身な応対や気づかい | 6. 身だしなみや挨拶等の基本的なマナー |
| 7. その他 | |

市政に対する満足度・重要度について

問6 本市では、将来都市像の『誰もキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽』を実現するために、以下に挙げるような「目標」と「めざすまちの姿」を設定して、施策を推進しています。満足度・重要度ともに5段階で評価し、それぞれ1～5の中から1つ選んでください。(取り組みの内容を知らない場合や、全く関心がない場合は、「6. わからない」を選んでください)

目 標	めざすまちの姿	満 足 度					重 要 度						
		不満である	やや不満である	どちらともいえない	やや満足している	満足している	重要でない	あまり重要でない	やや重要である	重要である	わからない		
【政策の柱1】 出産・子育てを支え、学びと交流が活発に行われるまち													
1【子育て】子どもと子育て家庭をやさしく支える													
☐ 楽しみながら子育てができる環境づくり		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
☐ 未来ある子どもを育てる教育・保育の充実													
☐ 安心して毎日を過ごす環境の充実													
☐ 誰ひとりとして取り残さないサポート体制の推進													
2【教育・人材育成】子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める													
☐ 地域の魅力を伝える教育		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
☐ 地域とともに行う学校づくり													
☐ 災害に強い学校づくり、人づくり													

[illegible]

目 標	めざすまちの姿	満 足 度					重 要 度						
		不 満 で あ る	やや 不 満 で あ る	やや 満 足 し て い る	満 足 し て い る	わ か ら な い	重 要 で な い	お ま り 重 要 で な い	や や 重 要 で あ る	ど ち ら と も い え な い	重 要 で あ る	わ か ら な い	
3【教育・人材育成】しっかり学ぶ子どもたちを育てる													
○ 確かな学力を育てる													
○ 豊かな心と健やかな体を育てる		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 快適な教育基盤をつくる													
4【教育・人材育成】多様な立場や個性を認め合う精神を育てる													
○ 人権施策啓発の推進													
○ 女性活躍とダイバーシティの推進		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 国際的な文化に対する理解の醸成													
5【教育・人材育成】生涯学習やスポーツを進める													
○ 生涯学習活動の充実													
○ 社会教育施設のあり方の見直し		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 図書館の充実													
○ スポーツ活動に取り組める環境づくり													
6【交流の促進】鳥羽ファンの熱いつながりづくり													
○ 交流実現するための快適環境づくり													
○ 市民がつながる機会づくり		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 交流人口・関係人口の増加													
【政策の柱2】人が集い活力あふれるまち													
7【観光の魅力向上】海洋文化を守り、活かす													
○ 鳥羽うみの文化を守る・伝える													
○ 知りたいニーズに対応できる受け入れ体制づくり		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 戦略的なプロモーション													
○ 観光推進体制の充実													
8【観光の魅力向上】まちの美しさと機能を保つ													
○ ビューポイントの保全													
○ 持続可能な受入れ基盤の維持		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 交通結核の維持													
9【観光の魅力向上】地域資源を活かした経済循環													
○ 域内流通の促進													
○ 滞在型観光の充実		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 鳥羽さかなの価値向上・食の魅力拡充													
○ 地域資源を活用した商品開発と販路拡大													
10【産業振興と経営の安定化】水産業を守り育てつなぐ													
○ 水産資源の保全と漁業生産に関する技術指導													
○ 漁港施設の維持管理													
○ 漁業経営の安定化		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 生産現場と消費現場をつなぐ													
○ 生産・流通施設の整備・検討													
11【産業振興と経営の安定化】農業に触れる機会をつくる													
○ 農業生産基盤の保全													
○ 農作物の鳥獣害対策		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 農業の安定化													
12【産業振興と経営の安定化】商工業の明日を支える													
○ 中小企業の経営安定化													
○ 次世代につなぐ時代の変化に則した経営の支援		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
13【就業・起業】とばびとの「働く」を支える													
○ 多様な形で働くき手の増加													
○ 多様な働き方や鳥羽の魅力を伝える		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 働きやすさのサポート													
○ 起業支援													

目 標	めざすまちの姿	満 足 度					重 要 度						
		不満である	やや不満である	どちらともいえない	やや満足している	満足している	重要でない	あまり重要でない	やや重要である	重要である	わからない		
24【安全安心な暮らし】地域に合った移動手段を考える													
○ 地域に合った移動手段を話し合う場づくり		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ くらしの目的を達成するための一体的な交通システムの構築													
○ 経営視点を入れた効率的な公共交通の運営													
○ 交通に頼らない暮らしを支えるサービスの充実													
25【保健医療・各種手続き】健康で安心できる暮らしを支える													
○ 健康・予防意識の向上		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ いざという時の受診体制を整える													
26【保健医療・各種手続き】質の高い市民サービスを提供する													
○ 信頼できる窓口業務		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
26-1 安心できる社会保障制度の運営													
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問7 「今後特に力を入れてほしいまちづくり分野」についてお聞きします。
次の分野別政策目標のうち、今後のまちづくりの中で特に力を入れるべき分野について、次の中から主なものを3つまで選んでください。

- | | | | | |
|---------|-----------|---------|----------|----------|
| 1. 人材育成 | 2. 結婚・子育て | 3. 雇用促進 | 4. 観光交流 | 5. 産業振興 |
| 6. 歴史文化 | 7. 環境保全 | 8. 自然共生 | 9. 生活環境 | 10. 保健医療 |
| 11. 福祉 | 12. 安全・安心 | 13. 協働 | 14. 行政経営 | 15. その他 |

2040年に向けたまちづくりについて

今後、人口減少が進むと推測されています。(2040年には約1万人まで減少する見通し)
これから「稼ぐ」「つながる」「社会資源の最適化」という点からまちづくりを改めて考えていく必要があります。

問8 鳥羽市が進める2040年に向けての「地域共生社会」づくりについてどの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 知らない 2. 聞いたことがある 3. 内容を知っている 4. 参加したい 5. 興味が無い

問9 本市では人口3万人時代に整備した施設等が老朽化してきています。現役世代が大きく減少し、市税も減っていく中で、公共サービスすべてを維持していくことは難しい面があります。2040年に向けて、お住まいの地区でのサービスと公共交通について、これからどの方向で進めていくのがよいとお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。

- 居住地区にサービス（慢性的な通院、日常の買い物等）の拠点がなくなっても、地区外に出るための公共交通を維持し、利便性を保持していく形がよい。
- 居住地区でサービスが何らかの形で受けられるように（例えば、オンライン診療の強化、移動販売、ネットスーパーの利用等）工夫すれば公共交通は縮小する方向でよい。
- 居住地区でのサービスも公共交通も、例えば曜日や便を限定といった形でスリム化しつつ、両方を組み合わせていく形がよい。
- その他

あなた自身について

調査結果を統計的に処理するため、下記についておたずねします。あてはまるものを1つ選んでください。

問10 あなたの性別は次のうちどれにあたりますか。

1. 男性 2. 女性 3. 性別を選択しない

問11 あなたの年齢は次のうちどれにあたりますか。

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上

問12 あなたの世帯構成は次のうちどれにあたりますか。

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子ども（ご自身は親）
4. 親と子ども（ご自身は子ども） 5. 三世帯同居 6. その他

問13 あなたの主なご職業は次のうちどれにあたりますか。（兼業のかたは、主たる職業についてお答えください）

- 農林漁業（家族従事者も含む）
- 自営業・自由業（商業、工業、サービス業など、家族従事者も含む）
- 会社員、公務員など（会社役員、専門職、契約期間6か月以上の契約社員も含む）
- パートタイム、アルバイト、契約社員（契約期間6か月未満）、内職など
- 学生
- 主婦・主夫（主に家事に従事）
- 無職
- その他

問14 あなたが、通勤・通学、日常のお出かけの際に利用している交通手段は次のどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 鉄道 2. バス 3. 定期船 4. 自家用車
5. オートバイ 6. 自転車 7. 徒歩のみ 8. その他

問15 あなたのお住まいの地区をお答えください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 鳥羽一丁目 | 2. 鳥羽二丁目 | 3. 鳥羽三丁目 | 4. 鳥羽四丁目 | 5. 鳥羽五丁目 |
| 6. 堅神町 | 7. 屋内町 | 8. 池上町 | 9. 小浜町 | 10. 大明東町 |
| 11. 大明西町 | 12. 高丘町 | 13. 安楽島町 | 14. 船津町 | 15. 幸丘 |
| 16. 若杉町 | 17. 河内町 | 18. 岩倉町 | 19. 松尾町 | 20. 白木町 |
| 21. 相差町 | 22. 国崎町 | 23. 畔蛸町 | 24. 千賀町 | 25. 堅子町 |
| 26. 浦村町 | 27. 石鏡町 | 28. 坂手町 | 29. 桃取町 | 30. 答志町 |
| 31. 菅島町 | 32. 神島町 | | | |

ご協力ありがとうございました。